

甲府市上下水道事業経営戦略

# 第4次戦略推進計画

(2021年度～2023年度)

【水道事業】

令和4年度評価結果（対象：令和3年度）



甲府市上下水道事業経営戦略 第4次戦略推進計画 (水道事業) 事業評価総括表  
 (5つの経営方針のもと、13施策、32事業) 対象：令和3(2021)年度

経営方針	施策	事業番号	事業名	担当課	事業評価	施策総合評価
1安全でおいしい水道(安全)	(1) 水源保全の推進	1	水源保全活動推進事業 ※	水保全課	C-	C
		2	こうふ水源の森整備事業	水保全課	C-	
		3	水源保護地域水質汚濁防止事業	水保全課	B	
	(2) 水質管理の充実	4	水源域の水質調査事業 ※	浄水課	B	B
		5	水質検査事業 ※	浄水課	B	
	(3) 給水装置等の安全管理の推進	6	貯水槽水道管理指導事業※	給排水課	B	B
		7	直結給水方式普及事業	給排水課	B	
2災害に強くなやかな水道(強靱)	(1) 危機管理対策の強化	8	総合的危機管理対策の強化	総務課	B	B
		9	水道施設等施設浸水対策事業	浄水課(総務課)	B	
	(2) 管路・施設の更新及び耐震化の推進	10	水道管路耐震化事業	水道課	B	B
		11	浄水施設等更新事業 ※	浄水課	B	
		12	配水施設等更新事業	水道課	B	
13	本局の庁舎改修事業	総務課	B			
3将来に繋げる水道(持続)	(1) 経営基盤の強化	14	企業債の適正発行と資金調達手法の検討	経営企画課	B	B
		15	水道料金の収納率向上、滞納整理の強化	営業課	B	
		16	民間活力の活用推進(営業部門)	営業課	B	
		17	民間活力の活用推進(浄水場運転管理等)	浄水課	B	
		18	適正な水道料金の継続的な検討	経営企画課	B	
		19	給水台帳システムの整備	給排水課	B	
		20	上下水道事業アセットマネジメントシステムの運用等	計画課(水道課、浄水課)	B	
	21	効率的な事務の推進	総務課	B		
	(2) 広域連携の推進	22	水道事業広域連携の推進	経営企画課	B	B
	(3) 有収率の向上	23	鉛製給水管対策事業 ※	水道課(給排水課)	C+	B
		24	漏水防止対策事業	水道課	B	
(4) 技術・経営ノウハウの継承	25	人材育成、技術・経営ノウハウの継承	総務課	B	B	
4お客様満足度の高い水道(信頼)	(1) 親しみやすく、わかりやすい情報の提供	26	戦略的PR活動の展開	経営企画課	B	B
		27	情報共有、協働による相互理解を深めた事業運営(広報等)	経営企画課	B	
		28	水質検査情報の公表	浄水課	B	
(2) お客様の利便性の向上	29	顧客満足度向上事業	営業課	B	B	
5環境に配慮した水道(環境)	(1) 環境保全への貢献	30	環境・エネルギー利活用事業(本局)	総務課	B	B
		31	水道施設を利用した再生可能エネルギー利活用事業	浄水課(計画課)	B	
	(2) 効率的な水運用	32	効率的な水運用の推進	計画課(水道課、浄水課)	B	B

※第六次甲府市総合計画の実施計画事業

事業評価	A：拡大、B：継続推進、C+：積極的見直し、C-：一部改善、D+：統廃合、D-：縮小、E：休止・廃止、F：完了
施策総合評価	A：大きな効果を挙げている、B：効果を挙げている、C：あまり効果を挙げられていない、D：効果が挙げられていない 事業評価と重要業務指標(KPI)の状況を勘案し、総合的に評価



第4次戦略推進計画 進捗管理シート（最終）

水道事業

事業番号 1 水源保全活動推進事業（第六次甲府市総合計画実施計画  
事業番号 上下-1）

対象：令和3（2021）年度

担当課	水保全課		担当課長	石原 元喜		
経営方針	1 安全でおいしい水道（安全）		施策	（1）水源保全の推進		
目的	水源保全の活動推進と意識啓発を図るため、「新21世紀水源保全計画」に基づき、市民や各種団体などとの協働による水源保全活動を実施します。					
事業概要	水源保全の必要性などを情報発信するとともに、市民、各種団体、企業などとの協働により、水源林植樹の集い、水源観察会、水道水源地クリーン作戦などを実施します。					
現状と課題	水源保全に対する市民意識の醸成に向け、水源林植樹の集い（年1回）、荒川源流における野鳥及び水生生物の水源観察会（年2回）、水道水源地クリーン作戦（年2回）を実施しています。甲府市、上下水道局などによる啓発を継続的に行い、水源保全活動への参加を促進するとともに、市民や各種団体などによる自主的な活動が行われるよう事業を推進する必要があります。また、推進会議の提言・審議会の答申において新たな活動の展開が求められています。なお、事業実施においては、天候等が大きく影響することから、可能な限り予備日の設定や代替事業を検討し、目標値の達成に努めます。					
事業計画	名称	説明	年度	2021	2022	2023
	次期水源保全計画の策定準備等	令和6（2024）年度策定に向けて準備等				
	水源林植樹の集いの実施	市民、各種団体などとの水源林内での植樹				
	水源観察会の実施	親子を対象とした水源林内での荒川流域の水源観察				
	水道水源地クリーン作戦の実施	市民、各種団体などとの水源保護地域内での清掃活動				
業務指標	名称	目標値に対する取組状況	目標値	—	現行計画の検証・評価	方針決定
	次期水源保全計画策定のための現行計画の検証・評価、方針決定	実績	—	実績評価（担当）	—	
			2020年度末実績（参考）		—	
	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	5	5	5
	水源保全活動実施回数（回）	実績	4	実績評価（担当）	T3	
			2020年度末実績（参考）		2	
名称	目標値に対する取組状況等	目標値	750	750	750	
水源保全活動参加者数（人） ※重要業務指標	実績	237	実績評価（担当）	T1		
		2020年度末実績（参考）		131		
事業費予算額（千円）				2,253		
事業費決算額（千円）				307		
事業評価（担当）					C-	
取組状況及び今後の展開（担当）	新型コロナウイルス感染症の影響により参加人数を制限し規模を縮小する中で事業を実施した。また、新たな活動の展開としてフォトコンテストを実施した。今後は、コロナ過での活動内容の見直しや、予備日の設定を行う中で事業を展開していく。					
事業評価（推進委員会）					C-	
推進委員会の意見等	コロナ過の状況を踏まえるなかで、適切な感染対策を行い事業を推進すること。					

業務指標評価 T5：目標達成率110%以上、T4：90%以上110%未満、T3：70%以上90%未満、T2：50%以上70%未満、T1：50%未満

事業評価 A：拡大、B：継続推進、C+：積極的見直し、C-：一部改善、D+：統合、D-：縮小、E：休止・廃止、F：完了

担当課	水保全課		担当課長	石原 元喜		
経営方針	1安全でおいしい水道（安全）		施策	（1）水源保全の推進		
目的	甲府市の水道に係る水源保護地域内の民有林の水源かん養機能の向上を図るため、「新21世紀水源保全計画」に基づいて、同地域内の民有林を対象として、民有林の整備促進を図ります。					
事業の概要	水源保護地域における民有林を対象に植樹及び保育への補助金を交付するとともに、国が創設を予定している森林環境税の制度内容を踏まえ、本市における効果的な補助金交付制度について検討します。また、民有林を借り受けて市民と協働で活用するなど、水源保全に対する意識の醸成に努めます。					
現状と課題	森林整備事業補助金の交付については、山梨県による査定結果に基づき、上乘せ補助金を交付しています。関係する機関や部局と連携し、森林所有者の事業への理解を得る中で対象範囲の拡大を検討するとともに、国が創設した森林環境譲与税を活用して、水源保護地域における森林整備の促進を図る必要があります。森林環境譲与税を活用した森林経営管理制度があります。本市の北部山間地域の場合、小規模所有者の集まりであり意向調査を開始したところでありますが、事業の実施までには時間を要する状況です。					
事業計画	名称	説明	年度	2021	2022	2023
	民有林の整備促進	森林整備補助金の交付と補助金交付制度の検討				
	民有林の活用	民有林の借受予定地などの調査検討				
業務指標	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	200	200	200
	補助金交付額（千円）	実績	林政課を通じて森林組合等に事業推進の依頼を行ったが、実績はなかった。	実績	—	実績評価（担当） T1
				2020年度末実績（参考）	—	
	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	5.0	5.0	5.0
	民有林整備面積（ha）	実績	林政課を通じて森林組合等に事業推進の依頼を行ったが、実績はなかった。	実績	—	実績評価（担当） T1
2020年度末実績（参考）				—		
事業費予算額（千円）				200		
事業費決算額（千円）				0		
事業評価（担当）					C-	
取組状況及び今後の展開（担当）	水道水源保護地域内での森林整備については、森林環境譲与税による森林所有者への意向調査の動向を見据えるなかで、事業内容の検討及び見直しを図っていく。					
事業評価（推進委員会）					C-	
推進委員会の意見等	引き続き、林政課と連携を図りながら民有林の整備促進に努めること。					

業務指標評価 T5：目標達成率110%以上、T4：90%以上110%未満、T3：70%以上90%未満、T2：50%以上70%未満、T1：50%未満

事業評価 A：拡大、B：継続推進、C+：積極的見直し、C-：一部改善、D+：統廃合、D-：縮小、E：休止・廃止、F：完了

担当課	水保全課		担当課長	石原 元喜			
経営方針	1 安全でおいしい水道（安全）		施策	（1）水源保全の推進			
目的	甲府市の水道に係る水源保護地域における水質汚濁の防止のため、浄化槽の設置及び適正な維持管理を促進し、生活排水による水道原水の汚濁防止を図ります。						
事業概要	水源保護地域内において、浄化槽の設置費、維持管理費及び使用料などを補助することによって浄化槽の適正管理を促進し、水質の汚濁を防止します。						
現状と課題	「水源保護地域における浄化槽の設置及び維持管理に関する補助金交付要綱」に基づいて事業を実施しています。 浄化槽の使用状況や居住状況の調査により、2020年度末の浄化槽設置率は85.8%となっています。また、設置後の経過年数が長期化している設備もあったため、浄化槽の改築及び適正な維持管理を促進する必要があります。						
事業計画	名称	説明	年度	2021	2022	2023	
	浄化槽の適正管理の促進	浄化槽に係る補助金の交付と交付申請者の適正管理の促進					
	浄化槽設置率の向上	水源保護地域内の浄化槽設置率向上対策の検討及び実施					
業務指標	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	196	196	196	
	浄化槽の維持管理補助件数（件）	実績	浄化槽維持管理費補助金のうち、甲府市浄化槽事業80件、甲斐市浄化槽事業2件を6月に、個人管理型111件を3月に交付した。	実績	193	実績評価（担当）	T4
				2020年度末実績（参考）	194		
	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	100	100	100	
	補助対象浄化槽の適正管理割合（%）	実績	浄化槽維持管理費補助金交付にあたり、適切に保守点検及び法定検査が実施されていることを確認した。	実績	100	実績評価（担当）	T4
				2020年度末実績（参考）	100		
名称	目標値に対する取組状況等	目標値	85.80	85.80	85.80		
浄化槽設置率（%）	実績	浄化槽設置率については、新規入替等によって87.74%と上昇したものの、人口減少や高齢化などにより、今後の設置率向上は難しい状況にある。	実績	87.74	実績評価（担当）	T4	
			2020年度末実績（参考）	85.81			
事業費予算額（千円）				6,900			
事業費決算額（千円）				5,009			
事業評価（担当）					B		
取組状況及び今後の展開（担当）	要綱に基づき、浄化槽維持管理費補助金の交付を継続することにより、水源保護地域における浄化槽の適正な維持管理を促進し、生活排水による水道原水の汚濁防止を図る。						
事業評価（推進委員会）					B		
推進委員会の意見等	該当地区の高齢化が進む中で、空き家も増加傾向にあるが、環境部と連携し、状況を把握するなかで、適切な浄化槽の設置及び維持管理に努めること。						

業務指標評価 T5：目標達成率110%以上、T4：90%以上110%未満、T3：70%以上90%未満、T2：50%以上70%未満、T1：50%未満

事業評価 A：拡大、B：継続推進、C+：積極的見直し、C-：一部改善、D+：統廃合、D-：縮小、E：休止・廃止、F：完了

第4次戦略推進計画 進捗管理シート（最終）

水道事業

事業番号4 水源域の水質調査事業（第六次甲府市総合計画実施計画 事業番号 上下-2）

対象：令和3（2021）年度

担当課	浄水課		担当課長	米沢 繁明		
経営方針	1 安全でおいしい水道（安全）		施策	（2）水質管理の充実		
目的	荒川上流域表流水及び昭和、中道系地下水の水質変動を把握するため、水源域の水質調査を実施します。					
事業概要	荒川ダム富栄養化及び荒川上流域表流水の経年変化や水質変動状況を把握するための水質調査を実施します。 荒川上流域水源かん養林については、甲府市・山梨大学連携事業による研究の基礎データを基に、現状把握及び分析を行います。 昭和、中道系の盆地地下水については、量・質からみた地下水の実態調査、流動の把握、賦存量の調査研究を実施します。					
現状と課題	水源水質については、荒川上流域表流水及び昭和、中道系地下水の水質検査を行う中でその変化を監視しており、安全で清浄な原水が確保されています。 水源保護地域内の水源かん養能力及び盆地地下水の賦存量などについても山梨大学連携事業により調査・研究を行っており、大きな変化が見られず良好であることを把握しています。 水源域の水質変動を的確に把握するためには、一定期間の水質データの収集が必要であり、継続して水質調査を実施する必要があります。					
事業計画	名称	説明	年度	2021	2022	2023
	荒川上流域 水質調査	4地点×12回 2地点×4回				
	昭和及び中道地下水水質調査	昭和19箇所×1回 中道5箇所×1回				
	山梨大学連携事業による水源域の実態把握	荒川上流調査 2回 ダム調査 6回				
業務指標	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	88	88	88
	水源水質調査回数（回）	実績 荒川上流域水質調査：56件 昭和及び中道地下水水質調査：24件 山梨大学連携事業調査：8件	実績	88	実績評価（担当）	T4
			2020年度末実績（参考）		88	
事業費予算額（千円）				4,069		
事業費決算額（千円）				4,024		
事業評価（担当）					B	
取組状況及び今後の展開（担当）		荒川上流域及び地下水調査については、継続して調査を実施し水質変動時には、適切な対応を実施していく。				
事業評価（推進委員会）					B	
推進委員会の意見等		水源域の水質変動を正しく把握するため、継続して水質調査を行うこと。				

業務指標評価 T5：目標達成率110%以上、T4：90%以上110%未満、T3：70%以上90%未満、T2：50%以上70%未満、T1：50%未満

事業評価 A：拡大、B：継続推進、C+：積極的見直し、C-：一部改善、D+：統廃合、D-：縮小、E：休止・廃止、F：完了



## 第4次戦略推進計画 進捗管理シート（最終）

水道事業

事業番号5 水質検査事業（第六次甲府市総合計画実施計画 事業番号上下-3）

対象：令和3（2021）年度

担当課	浄水課	担当課長	米沢 繁明				
経営方針	1 安全でおいしい水道（安全）	施 策	（2）水質管理の充実				
目 的	安全で信頼される水道水を供給するため、計画的な検査装置の更新、導入及び技術継承により自己検査体制を整備し、「水道GLP」認定取得により確立した信頼性保証体制を適切に運用することで、高精度で信頼性の高い水質検査を実施します。						
事業概要	自己検査体制の充実のために、検査装置等の整備を行います。検査技術等に係る教育訓練や精度管理を行い、検査技術能力の向上や確実な技術継承に取り組み、水道GLPに準拠した品質管理システムの適切な運用を行います。						
現状と課題	水質検査装置の計画的な更新や、保守管理と精度管理、及び教育訓練を実施し、精度の高い水質検査に努めています。水質検査の信頼性を確保するために、水道GLPの認定を継続して取得していく必要があります。						
事業計画	名 称	説 明	年 度	2021	2022	2023	
	水質検査の実施	水質検査計画の策定及び検査の実施					
	教育訓練等の実施	精度管理（外部2回、内部22回）、教育訓練（27回）					
	信頼性保証体制の充実（GLP認定）	水道GLPの運用による、水質検査の信頼性確保（隔年で審査有）					
業務指標	名 称	目標値に対する取組状況等	目標値	12	12	12	
	定期水質検査の実施（回）	実績	水質検査計画に基づく検査の実施	実績	12	実績評価（担当）	T4
				2020年度末実績（参考）	12		
	名 称	目標値に対する取組状況等	目標値	52	51	52	
	教育訓練等回数（回）	実績	精度管理（外部2回、内部21回）教育訓練（29回）	実績	52	実績評価（担当）	T4
				2020年度末実績（参考）	56		
	名 称	目標値に対する取組状況等	目標値	100	100	100	
	水質検査結果信頼性（%）	実績	水道GLPの運用による、水質検査の信頼性確保	実績	100	実績評価（担当）	T4
				2020年度末実績（参考）	100		
	事業費予算額（千円）				17,637		
事業費決算額（千円）				14,206			
事業評価（担当）					B		
取組状況及び今後の展開（担当）	水質検査の信頼性を確保するために、水質検査機器の更新、保守等を行うとともに検査技術の向上に努める。						
事業評価（推進委員会）					B		
推進委員会の意見等	安全で信頼される水道水を供給するため、品質管理システムを適切に運用するとともに、検査技術能力の向上を図り、高精度で信頼性の高い水質検査を実施すること。						

業務指標評価 T5：目標達成率110%以上、T4：90%以上110%未満、T3：70%以上90%未満、T2：50%以上70%未満、T1：50%未満

事業評価 A：拡大、B：継続推進、C+：積極的見直し、C-：一部改善、D+：統廃合、D-：縮小、E：休止・廃止、F：完了

第4次戦略推進計画 進捗管理シート（最終）

水道事業

事業番号6 貯水槽水道管理指導事業（第六次甲府市総合計画実施計画 事業番号 上下-4）

対象：令和3（2021）年度

担当課	給排水課		担当課長	今井 洋和		
経営方針	安全でおいしい水道（安全）		施策	（3）給水装置等の安全管理の推進		
目的	貯水槽水道の設置者に対し、適正管理（法定検査受検、受水槽清掃）の実施について管理指導を行い、お客様に安全でおいしい水道水の供給を図ります。					
事業概要	簡易専用水道の全設置者に対し、水道法に基づく法定検査の受検を促す内容の通知を送付するとともに、前年度未受検の設置者に対し直接訪問指導を行い、法定検査の必要性や重要性について周知・指導を実施します。また、小規模貯水槽水道の全設置者に対し、給水条例等に基づく受水槽の清掃などの適正管理を促す内容の通知を送付します。					
現状と課題	簡易専用水道においては、法定検査未受検の設置者に直接訪問指導を行っていますが、法定検査等の必要性について理解が得られない設置者もいます。引き続き直接訪問指導を粘り強く行い、安全でおいしい水道水を供給するために法定検査の重要性について指導を行います。また、小規模貯水槽水道については、報告義務がないため貯水槽の清掃等について、設置者に更なる啓発活動を行います。					
事業計画	名称	説明	年度	2021	2022	2023
	簡易専用水道の啓発活動の積極的な実施	簡易専用水道の法定検査受検の実施について周知・指導の実施				
	小規模貯水槽水道の啓発活動の積極的な実施	小規模貯水槽水道の清掃等の必要性について啓発活動の実施				
業務指標	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	97.00	97.50	98.00
	貯水槽水道指導率（％） ※重要業務指標	実績	簡易専用水道494施設、小規模貯水槽施設1,976施設すべての設置者に対し、通知を送付し指導を行った。共に不着があったものの再通知・連絡を実施し指導率は98.5%であった。	実績	98.54	実績評価（担当） T4
				2020年度末実績（参考）	96.44	
	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	50	50	50
	簡易専用水道の法定検査未受検施設の訪問件数（件）	実績	令和2（2020）年度末の未受検50施設すべてを訪問し、設置者等に口頭指導を行った。	実績	50	実績評価（担当） T4
				2020年度末実績（参考）	64	
名称	目標値に対する取組状況等	目標値	90.00	90.00	90.00	
簡易専用水道の全体の受検率（％）	実績	簡易専用水道の適正管理については、通知を設置者等に送付するとともに広報こうふへ掲載し啓発を行った。簡易専用水道494施設（前年度から3施設が廃止となったため除外）のうち、448施設において法定検査を実施した。	実績	90.69	実績評価（担当） T4	
			2020年度末実績（参考）	89.74		
事業費予算額（千円）				233		
事業費決算額（千円）				165		
事業評価（担当）					B	
取組状況及び今後の展開（担当）	安全でおいしい水を供給するため、今後も法定検査の受検等による適正管理の啓発に努めていく。					
事業評価（推進委員会）					B	
推進委員会の意見等	貯水槽水道の適正管理の実施について、水道事業者として安全な供給に向けた管理指導を引き続き行うこと。					

業務指標評価 T5：目標達成率110%以上、T4：90%以上110%未満、T3：70%以上90%未満、T2：50%以上70%未満、T1：50%未満

事業評価 A：拡大、B：継続推進、C+：積極的見直し、C-：一部改善、D+：統廃合、D-：縮小、E：休止・廃止、F：完了

## 第4次戦略推進計画 進捗管理シート（最終）

水道事業

事業番号7 直結給水方式普及事業

対象：令和3（2021）年度

担当課	給排水課	担当課長	今井 洋和			
経営方針	安全でおいしい水道（安全）	施策	（3）給水装置等の安全管理の推進			
目的	直結増圧式給水の普及により、受水槽で発生しやすい水質劣化の問題が解消され安全でおいしい水道水を供給するため、直結給水方式の普及を図ります。					
事業概要	3階直結直圧式給水に加え、2020年度より4階以上の中高層建築物への直結増圧式給水を認可し、直結給水方式の普及を促進します。					
現状と課題	直結増圧式給水はこれまで認可していませんでしたが、これまでの経年管路の更新等により管路の配水能力は年々向上しています。また、増圧ポンプの性能向上により他事業体においても直結増圧式給水が積極的に進められていることから、本市においても2020年度から認可することとしました。こうしたことから、受水槽で発生しやすい水質劣化の問題を解消し、安全でおいしい水道水を供給するため、直結給水方式の普及を促進する必要があります。					
事業計画	名称	説明	年度			
	直結給水方式の普及			2021	2022	2023
業務指標	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	2	2	2
	認可件数（件）	実績	実績	2	実績評価（担当）	T4
			2020年度末実績（参考）	2		
事業費予算額（千円）			—			
事業費決算額（千円）			—			
事業評価（担当）					B	
取組状況及び今後の展開（担当）	令和2（2020）年度に直結増圧式給水を採用して以来、認可後の工事が完成した2件が給水を開始している。今後も直結給水方式の普及を促進し、安全でおいしい水の提供に寄与していく。					
事業評価（推進委員会）					B	
推進委員会の意見等	受水槽を用いない直結給水方式の普及は、水道水の品質を確保した安全な供給につながるため、今後も周知・広報活動などにより促進に努めること。					

業務指標評価 T5：目標達成率110%以上、T4：90%以上110%未満、T3：70%以上90%未満、T2：50%以上70%未満、T1：50%未満

事業評価 A：拡大、B：継続推進、C+：積極的見直し、C-：一部改善、D+：統廃合、D-：縮小、E：休止・廃止、F：完了

第4次戦略推進計画 進捗管理シート（最終）

水道事業

事業番号8 総合的危機管理対策の強化

対象：令和3（2021）年度

担当課	全課（総務課）		担当課長	芦澤 達也		
経営方針	2災害に強くしなやかな水道（強靱）		施策	（1）危機管理対策の強化		
目的	日常の施設事故から大規模自然災害等の発生時に想定されるあらゆる危害への対策を講じるため、総合的な危機管理対策の強化を図ります。					
事業概要	「危機管理指針」やマニュアル等については、「甲府市地域防災計画」等との整合を図る中で、想定される危害に対する個別対応マニュアル等の策定・見直し、応急給水資機材等の充実、実践的な災害対応訓練を実施します。					
現状と課題	山梨県、甲府市、日本水道協会及び関係団体などと連携した被災の経過や状況に応じた実践的かつ効果的な災害対応訓練等の実施や資機材の計画的な整備により災害対応能力の向上を継続的に図っていくことが重要です。また、今までの地震災害に加え風水害や感染症といった事象に対応するために、令和2（2020）年度に新たに下水道事業の業務継続と一体化し策定した業務遂行の基本的指針となる「甲府市上下水道事業業務継続計画（BCP）」を適宜見直し、計画全体のレベルアップを図り、より効果的な計画として維持することが必要です。					
事業計画	名称	説明	年度	2021	2022	2023
	災害対応訓練	実践的かつ効果的な訓練の実施				
	計画・マニュアル等随時見直し	必要に応じ随時見直し				
	応急水道資機材等整備	災害時に必要な応急資機材の計画的整備				
業務指標	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	9	9	9
	災害対策訓練実施回数（回） ※重要業務指標	実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>平瀬浄水場異臭対策訓練（4月）</li> <li>平瀬浄水場臭気試験訓練（4月）</li> <li>標的型メール訓練（6月）</li> <li>山梨県水道事業情報伝達訓練（10月）</li> <li>平瀬浄水場平瀬薬品注入訓練（10月）</li> <li>平瀬浄水場油除去訓練（10月）</li> <li>甲府市総合防災訓練（11月）</li> <li>サイバー攻撃対策連絡協議会年次会議対策講話（11月）</li> <li>平瀬浄水場防火訓練（1月）</li> <li>日本水道協会関東地方支部情報伝達訓練（1月）</li> </ul>	実績 10	実績評価（担当）	T5	
				2020年度末実績（参考）	10	
事業費予算額（千円）				4,812		
事業費決算額（千円）				4,395		
事業評価（担当）					B	
取組状況及び今後の展開（担当）	災害対策訓練等を継続して実施し、総合的な危機管理対策の強化に努める。					
事業評価（推進委員会）					B	
推進委員会の意見等	危機管理対策の強化については、BCPで策定した各班の非常時行動計画に基づいた訓練を実施し、各班における訓練結果の検証・改善を図ることで、より実効性の高いものとしていくこと。					

業務指標評価 T5：目標達成率110%以上、T4：90%以上110%未満、T3：70%以上90%未満、T2：50%以上70%未満、T1：50%未満

事業評価 A：拡大、B：継続推進、C+：積極的見直し、C-：一部改善、D+：統廃合、D-：縮小、E：休止・廃止、F：完了

## 第4次戦略推進計画 進捗管理シート（最終）

水道事業

事業番号9 水道施設等浸水対策事業

対象：令和3（2021）年度

担当課	総務課・浄水課		担当課長	芦澤 達也・米沢 繁明		
経営方針	2災害に強くしなやかな水道（強靱）		施策	（1）危機管理対策の強化		
目的	大雨による浸水被害で浄水施設及び配水施設で機能不全が起こり水道水の供給が停止することのないよう必要な措置を講じます。また、併せて業務の拠点となる上下水道局本局の庁舎（以下「本局の庁舎」という。）において浸水により、防災対策業務に支障が出ないよう必要な措置を講じます。					
事業概要	平瀬浄水場、昭和浄水場、配水池及び本局の庁舎の浸水危険箇所の調査及び浸水対策工事等を行います。					
現状と課題	昭和浄水場等は、浸水被害の恐れがある地域にあり、施設等の浸水を防ぐ対策を早急に講じる必要があります。 浸水ルートと浸水範囲の確認や、浸水に伴う施設や設備機能への影響度の評価を行い、「昭和浄水場外浸水対策計画」を作成しました。この計画を基に、対策工事を行っていきます。					
事業計画	名称	説明	年度	2021	2022	2023
	昭和浄水場等浸水対策事業	浸水箇所の設計・工事等				
	本局の庁舎浸水対策事業	浸水箇所の工事等				
業務指標	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	23.57	46.04	68.58
	業務進捗度（%）	実績 機器費等の見直しなど、設計を精査したことにより令和4年度への繰越工事となったが、昭和浄水場ポンプ棟、取水井1・2・3・5、本局受配電設備の浸水対策工事を施工した。	実績	4.00	実績評価 （担当）	T1
				2020年度末 実績（参考）	4.00	
事業費予算額（千円）				77,000		
事業費決算額（千円）				0		
事業評価（担当）					B	
取組状況及び今後の展開 （担当）	今後も順次工事を発注・施工し浸水対策の向上を目指す。なお、令和4年度へ繰越となった浸水対策工事については、4月21日に完成となっている。					
事業評価（推進委員会）					B	
推進委員会の意見等	近年の激甚化する水害に備え、計画的に浸水対策工事を進めること。					

業務指標評価 T5：目標達成率110%以上、T4：90%以上110%未満、T3：70%以上90%未満、T2：50%以上70%未満、T1：50%未満

事業評価 A：拡大、B：継続推進、C+：積極的見直し、C-：一部改善、D+：統廃合、D-：縮小、E：休止・廃止、F：完了

第4次戦略推進計画 進捗管理シート（最終）

水道事業

事業番号10 水道管路耐震化事業（第六次甲府市総合計画実施計画  
事業番号 上下-6）

対象：令和3（2021）年度

担当課	水道課	担当課長	山本 和男				
経営方針	2災害に強くしなやかな水道（強靱）	施策	（2）管路・施設の更新及び耐震化の推進				
目的	管路施設の耐震性向上と、最適な水理機能、水質保持機能を維持するため、基幹管路をはじめとする管路の更新に努めます。						
事業概要	耐久性・耐震性に劣る経年管路の更新工事をはじめ、全ての管路工事において国の耐震基準を満たす耐震管を採用し耐震管率の向上を目指します。 <年間整備延長>①基幹管路：500m ②重要管路：1,000m ③水運用計画路線：1,000m ④経年管路更新：4,500m ⑤その他：10,000m						
現状と課題	令和元（2019）年度末の耐震管率は15.92%です。下水道工事に伴う配水管布設替工事の減少に伴い目標とする整備延長の確保が難しくなっています。基幹管路等の災害対策工事や、経年管路の更新工事を可能な限り拡大しながら耐震化を進めていく必要があります。						
事業計画	名称	説明	年度	2021	2022	2023	
	水道管路耐震化事業	全ての管路工事が対象。 ・基幹管路耐震化工事 ・重要管路耐震化工事 ・水運用計画路線工事 ・経年管路更新工事 ・その他工事					
業務指標	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	17,000	17,000	17,000	
	単年度整備延長（m）	実績	50本の耐震化工事を完了した。 ①2②災対=1,004m、③ブ=2,031m ④更新=5,185m、⑤その他=5,263m	実績	13,483	実績評価（担当）	T3
				2020年度末実績（参考）	14,199		
	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	17.71	18.85	19.99	
	耐震管率（%） ※重要業務指標	実績	民間開発工事と合わせた耐震管整備延長は17,105mとなり、耐震管率の向上を図った。	実績	18.11	実績評価（担当）	T4
				2020年度末実績（参考）	17.03		
名称	目標値に対する取組状況等	目標値	1.00	1.00	1.00		
管路更新率（%）	実績	管路総延長1,470,525mに対する更新延長は12,232mとなり、管路更新率の向上に努めた。	実績	0.83	実績評価（担当）	T3	
			2020年度末実績（参考）	0.93			
事業費予算額（千円）				3,103,059			
事業費決算額（千円）				1,618,741			
事業評価（担当）					B		
取組状況及び今後の展開（担当）	重要管路、経年管路の耐震化については、概ね事業計画に沿った実施となったものの、経年管路更新工事の施工時期調整による繰越や下水道工事を含む他企業関連工事による整備延長の減少により、単年度整備延長は目標値を下回った。耐震管率は目標値を上回ったが、今後さらに経年管路等の更新事業の拡大を図り耐震化を推進していく。						
事業評価（推進委員会）					B		
推進委員会の意見等	経年管路の更新や重要管路の耐震化工事等の拡大を図りながら、着実に事業の推進を図ること。						

業務指標評価 T5：目標達成率110%以上、T4：90%以上110%未満、T3：70%以上90%未満、T2：50%以上70%未満、T1：50%未満

事業評価 A：拡大、B：継続推進、C+：積極的見直し、C-：一部改善、D+：統廃合、D-：縮小、E：休止・廃止、F：完了

第4次戦略推進計画 進捗管理シート（最終）

水道事業

事業番号 11 浄水施設等更新事業（第六次甲府市総合計画実施計画  
事業番号 上下-8）

対象：令和3（2021）年度

担当課	浄水課	担当課長	米沢 繁明			
経営方針	2災害に強くしなやかな水道（強靱）	施策	（2）管路・施設の更新及び耐震化の推進			
目的	浄水施設等における機能の維持向上を図るため、老朽化した設備の更新を行い、施設等の機能維持向上を図ります。					
事業概要	平瀬、昭和浄水場及び各配水池等の老朽化設備等の更新工事を年次的に行います。 （平瀬浄水場：水質計器更新、ろ過池更生、照明設備取替、ポンプ更新、非常用発電設備更新等） （昭和浄水場：フェンス取替、取水井水位計取替等） （各配水池等：千代田ポンプ制御盤・水位計取替等）					
現状と課題	運用開始より30年以上が経過しており、各施設、設備とも更新の時期にきています。浄水処理を平常運転で行う中での更新工事実施となるため、安定した水処理に支障をきたすことがないよう、手法や工程管理等を勘案する必要があります。					
事業計画	名称	説明	年度	2021	2022	2023
	平瀬浄水場施設更新	アセットマネジメントによる計画的な老朽施設の更新				
	昭和浄水場施設更新					
	各配水施設等更新					
業務指標	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	40.13	50.93	55.91
	施設等更新の進捗率（%）	実績 今年度は、前年度からの継続・繰越工事を含め12件の工事が完成した。 なお、令和4年度への継続工事が1件、繰越工事が1件である。	実績	43.17	実績評価（担当）	T4
			2020年度末実績（参考）	38.56		
事業費予算額（千円）				724,301		
事業費決算額（千円）				328,994		
事業評価（担当）					B	
取組状況及び今後の展開（担当）		アセットマネジメントによる計画的な施設の更新を行いつつ、施設等の劣化度や事業費の平準化を図る中で、計画的に施設等の機能の維持向上を目指す。				
事業評価（推進委員会）					B	
推進委員会の意見等		今後も効果的かつ効率的な更新に努め、浄水施設等の機能の維持向上を図ること。				

業務指標評価 T5：目標達成率110%以上、T4：90%以上110%未満、T3：70%以上90%未満、T2：50%以上70%未満、T1：50%未満

事業評価 A：拡大、B：継続推進、C+：積極的見直し、C-：一部改善、D+：統合廃止、D-：縮小、E：休止・廃止、F：完了

第4次戦略推進計画 進捗管理シート（最終）

水道事業

事業番号12 配水施設等更新事業

対象：令和3（2021）年度

担当課	水道課		担当課長	山本 和男		
経営方針	2災害に強くしなやかな水道（強靱）		施策	（2）管路・施設の更新及び耐震化の推進		
目的	平常時及び非常時において安全で安定した給水を行うため、水道施設における耐震診断結果に基づき、耐震性の低い配水池の更新を図ります。					
事業概要	中区配水池及び高区配水池等の更新					
現状と課題	中区配水池及び高区配水池は築造から60年以上が経過しており、特に中区配水池は現在稼動している施設の中で最も古く、基幹施設として求められる耐震性能を有していないことから、関連する送配水管も含めた適切な更新を実施する必要があります。また、各配水施設の調査・点検を実施し、適切な更新を行うことで、配水機能の確保に努めます。					
事業計画	名称	説明	年度	2021	2022	2023
	中区配水池更新詳細設計	アセットマネジメントに基づく、配水施設等更新工事(電気・計装・機械・土木)				
	中区配水池更新工事					
	湯村山隧道配水池更新工事	施設の調査・点検による更新工事				
業務指標	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	—	—	—
	耐用年数（60年）を超えた施設の更新率（%）	実績	実績	—	実績評価（担当）	—
			2020年度末実績（参考）	—		
	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	85.08	85.08	85.08
	施設の耐震化率（%）	実績	実績	85.08	実績評価（担当）	T4
2020年度末実績（参考）			85.08			
事業費予算額（千円）				724,756		
事業費決算額（千円）				44,032		
事業評価（担当）					B	
取組状況及び今後の展開（担当）	令和4（2022）年度は、配水池場外送配水管の更新工事を実施し、令和5（2023）年度から着手する配水池本体の更新工事に向けた具体的な準備を進めていく。湯村山隧道配水池更新工事は増工事の発生により令和4（2022）年度に繰越となったが、適切な工程・品質管理のもと、将来にわたり安全性が担保される施設として更新を完了する。					
事業評価（推進委員会）					B	
推進委員会の意見等	中区配水池更新のための詳細設計に基づき、施設更新に向けた準備を着実に進めること。					

業務指標評価 T5：目標達成率110%以上、T4：90%以上110%未満、T3：70%以上90%未満、T2：50%以上70%未満、T1：50%未満

事業評価 A：拡大、B：継続推進、C+：積極的見直し、C-：一部改善、D+：統廃合、D-：縮小、E：休止・廃止、F：完了



第4次戦略推進計画 進捗管理シート（最終）

水道事業

事業番号 13 本局の庁舎改修事業

対象：令和3（2021）年度

担当課	総務課		担当課長	芦澤 達也		
経営方針	2災害に強くしなやかな水道（強靱）		施策	（2）管路・施設の更新及び耐震化の推進		
目的	本局の庁舎の効率的・計画的な改修を行い、維持管理経費及びエネルギー使用量の削減を図るとともに、執務環境の向上を目指します。					
事業概要	老朽化が進む本局の庁舎の建築設備劣化診断の結果による「庁舎維持管理計画」を策定し、これに基づき本局の庁舎の効率的・計画的な改修を行います。					
現状と課題	現在の本局の庁舎は、竣工から40年が経過し、老朽化が進んでいることから効率的・計画的な改修が必要となっています。					
事業計画	名称	説明	年度	2021	2022	2023
	本局の庁舎改修		「庁舎維持管理計画」に基づき改修			
業務指標	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	実施	実施	実施
	本局の庁舎改修	実績 函面管理室・公用車駐車場及びサービスセンターカウンター照明のLED化を行った。その他、大会議室プラインド交換工事、移動書庫改修、西庁舎トイレ洋式化、北側駐車場東門交換工事、公用車駐車場土間工事等実施した。	実績	実施	実績評価（担当）	T4
				2020年度末実績（参考）	実施	
事業費予算額（千円）				4,020		
事業費決算額（千円）				4,020		
事業評価（担当）					B	
取組状況及び今後の展開（担当）	積極的に庁舎改修・改善に取り組んだ結果、適正な庁舎の維持管理に努めることができた。今後も、効率的・計画的な維持修繕に努めていくとともに、エネルギー使用量の削減に取り組んでいく。					
事業評価（推進委員会）					B	
推進委員会の意見等	劣化診断の結果や労働環境の改善等を考慮する中で、効率的・計画的な維持修繕に努めること。					

業務指標評価 T5：目標達成率110%以上、T4：90%以上110%未満、T3：70%以上90%未満、T2：50%以上70%未満、T1：50%未満

事業評価 A：拡大、B：継続推進、C+：積極的見直し、C-：一部改善、D+：統廃合、D-：縮小、E：休止・廃止、F：完了

## 第4次戦略推進計画 進捗管理シート（最終）

### 水道事業

#### 事業番号14 企業債の適正発行と資金調達手法の検討

対象：令和3（2021）年度

担当課	経営企画課	担当課長	小澤 昭洋			
経営方針	3将来に繋げる水道（持続）	施策	（1）経営基盤の強化			
目的	今後発行を予定する企業債を適正水準で発行することや様々な資金調達手法の検討をすることにより、投資財源の適正化を図り、将来の財政負担軽減に努めます。					
事業概要	施設の整備・更新のために必要な資金の確保に努め、適正水準で計画的な企業債の借入を行います。また、企業債だけでなく、将来の財政負担の軽減を図るため、より有利で様々な資金調達方法を検討します。					
現状と課題	第5期拡張事業完成以降は、企業債発行の抑制や繰上償還など、財務体質の改善に努めてきたことにより、全国平均と比べ給水収益に対する企業債残高の割合は大きく下回っています。今後は、老朽化した施設の更新資金の確保が必要となりますが、企業債発行については、事業量に応じた適正な水準で発行することが必要となります。					
事業計画	名称	説明	年度	2021	2022	2023
	適正水準での企業債の発行	現状の経営状況を考慮した、適正水準での借入				
	様々な資金調達手法の調査・検討	様々な資金調達手法について調査・検討				
業務指標	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	266.61以下	266.61以下	266.61以下
	給水収益に対する企業債残高の割合（%）	実績 事業量及び財政状況を勘案する中で、企業債の発行を行った。	実績	39.42	実績評価（担当）	T4
			2020年度末実績（参考）	46.84		
事業費予算額（千円）				—		
事業費決算額（千円）				—		
事業評価（担当）					B	
取組状況及び今後の展開（担当）	引き続き、事業量及び財政状況を勘案する中で、適正な規模での企業債の発行に努めていく。					
事業評価（推進委員会）					B	
推進委員会の意見等	業務指標は良好であるが、給水収益の減少等のマイナス要因に留意し、引き続き、中長期的視点で適正な規模での企業債の発行を検討すること。					

業務指標評価 T5：目標達成率110%以上、T4：90%以上110%未満、T3：70%以上90%未満、T2：50%以上70%未満、T1：50%未満

事業評価 A：拡大、B：継続推進、C+：積極的見直し、C-：一部改善、D+：統廃合、D-：縮小、E：休止・廃止、F：完了

第4次戦略推進計画 進捗管理シート（最終）

水道事業

事業番号15 水道料金の収納率向上、滞納整理の強化

対象：令和3（2021）年度

担当課	営業課		担当課長	長田 和平		
経営方針	3 将来に繋げる水道（持続）		施策	（1）経営基盤の強化		
目的	水道事業は水道料金収入による独立採算が求められることから、収入確保に直結する収納率の向上、滞納整理の強化を図ります。					
事業概要	<p>滞納整理業務の強化として、一調定未納者<sup>※</sup>に対して催告書の送付、電話催告及び給水停止を行い、未収金の早期回収に取り組んでいきます。なお、水道料金収納率：現年度89.92%、過年度：99.83%の達成を目指します。</p> <p>※一調定未納者とは、納付方法を口座振替にする際に、引き落としの対象となる期間前に使用した分が納入漏れとなるなど、一回分の未納があるお客様</p>					
現状と課題	人口減少や節水機器の普及等による水需要の減少傾向に伴う厳しい経営環境の中、財源確保のために収納率を向上させることは重要な課題であり、委託業者と連携を図り、未収金の縮減に努めていきます。					
事業計画	名称	説明	年度	2021	2022	2023
	水道料金の収納率向上	水道料金未納者に対する速やかな催告書送付、電話催告、給水停止等の滞納整理業務				
業務指標	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	現年度 89.92 過年度 99.83	現年度 89.92 過年度 99.83	現年度 89.92 過年度 99.83
	水道料金の収納率、 現年度・過年度（%）	実績	実績	89.79 99.86	実績評価 （担当）	T4
				2020年度末 実績（参考）		
事業費予算額（千円）				—		
事業費決算額（千円）				—		
事業評価（担当）					B	
取組状況及び今後の展開 （担当）		未納者に対して督促状、催告状など文書による納付催告を行うとともに、電話や臨戸訪問での催告及び給水停止を行い収納率の向上に努める。				
事業評価（推進委員会）					B	
推進委員会の意見等		継続して、きめ細かな納付催告を行うとともに、滞納整理業務の強化を図り、収納率の向上に努めること。				

業務指標評価 T5：目標達成率110%以上、T4：90%以上110%未満、T3：70%以上90%未満、T2：50%以上70%未満、T1：50%未満

事業評価 A：拡大、B：継続推進、C+：積極的見直し、C-：一部改善、D+：統廃合、D-：縮小、E：休止・廃止、F：完了

第4次戦略推進計画 進捗管理シート（最終）

水道事業

事業番号16 民間活力の活用推進（営業部門）

対象：令和3（2021）年度

担当課	営業課		担当課長	長田 和平			
経営方針	3将来に繋げる水道（持続）		施策	（1）経営基盤の強化			
目的	民間事業者の専門知識・技術・ノウハウを活用し、経営の効率化を図ります。						
事業概要	営業部門の各業務を包括的に委託しているサービスセンター業務委託は、新たに委託する業務を追加し、2019年度から第2期を開始しています。各業務においては、民間事業者の専門知識・技術・ノウハウを活用し、更なる効率的な事業運営に努めます。						
現状と課題	サービスセンター業務委託について、毎月開催する評価委員会で業務の評価を行っており、本局が求めた水準を満たしていますが、今後においても、お客様ニーズを把握する中で、業務の効率化及び更なるお客様サービスの向上を図っていきます。						
事業計画	名称	説明	年度	2021	2022	2023	
	サービスセンター業務委託（2期）	窓口業務や検針業務等の包括民間委託（2019年度から2023年度まで）					
業務指標	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	12	12	12	
	受託事業者評価委員会開催（回）	実績	サービスセンター業務受託事業者評価委員会を毎月開催し、業務の進捗報告の中で問題点や課題について受託事業者へ指導を行い、業務水準の向上に努めた。	実績	12	実績評価（担当）	T4
				2020年度末実績（参考）	12		
	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	100	100	100	
	業務実施基準達成率（%）	実績	サービスセンター業務の各業務については、当局が求めた水準を満たした業務が行われた。	実績	100	実績評価（担当）	T4
				2020年度末実績（参考）	100		
事業費予算額（千円）				184,088			
事業費決算額（千円）				184,088			
事業評価（担当）					B		
取組状況及び今後の展開（担当）	毎月開催する受託事業者評価委員会の中で指摘された内容について、受託者へ指導・監督を行っていく。						
事業評価（推進委員会）					B		
推進委員会の意見等	今後もサービスセンターの指導・監督を行い、更なるお客様サービスの向上に努めるとともに、業務の効率化に努めること。						

業務指標評価 T5：目標達成率110%以上、T4：90%以上110%未満、T3：70%以上90%未満、T2：50%以上70%未満、T1：50%未満

事業評価 A：拡大、B：継続推進、C+：積極的見直し、C-：一部改善、D+：統廃合、D-：縮小、E：休止・廃止、F：完了

## 第4次戦略推進計画 進捗管理シート（最終）

水道事業

事業番号 17 民間活力の活用推進（浄水場運転管理等）

対象：令和3（2021）年度

担当課	浄水課		担当課長	米沢 繁明		
経営方針	3将来に繋げる水道（持続）		施策	（1）経営基盤の強化		
目的	事業運営の効率化や安定化を図るため、民間事業者の専門知識・技術・ノウハウを活用し、適切な評価・管理のもと平瀬浄水場運転管理等業務の民間委託を継続して行い、経営の効率化を図ります。					
事業概要	平瀬浄水場運転管理等業務（浄水場等の水質管理、維持管理、保守点検、簡易修繕及び薬品の調達等）の包括的業務委託を推進します。					
現状と課題	「平瀬浄水場運転管理等業務委託」（第2期）が、良好に履行されました。第3期にて追加される点検業務等を確実に行うとともに、民間事業者の技術・ノウハウを活用しながら、より効果的・効率的に業務を履行していく必要があります。					
事業計画	名称	説明	年度	2021	2022	2023
	平瀬浄水場運転管理等業務委託（第3期）	平瀬浄水場等の運転管理、施設維持管理等の包括民間委託（2019年度から2023年度まで）				
業務指標	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	12	12	12
	受託事業者評価委員会開催（回）	実績	実績	12	実績評価（担当）	T4
		平瀬浄水場受託事業者評価委員会を毎月開催し、業務の履行状況を確認するとともに、必要に応じ指導・助言を行い、業務水準の向上に努めた。	2020年度末実績（参考）	12		
	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	100	100	100
業務実施基準達成率（%）	実績	実績	100	実績評価（担当）	T4	
	平瀬浄水場受託事業者評価委員会において、全ての業務実施基準を達成したことを確認した。	2020年度末実績（参考）	100			
事業費予算額（千円）				141,900		
事業費決算額（千円）				141,900		
事業評価（担当）					B	
取組状況及び今後の展開（担当）	今年度は、第3期の3年目であったが、適切に業務が履行された。今後も継続して民間事業者の技術、ノウハウを活用し、業務の効率を図っていく。					
事業評価（推進委員会）					B	
推進委員会の意見等	今後も業務実施基準を達成し経営の効率化が図れるよう、受託事業者に対し適切な指導・助言を行い管理に努めること。					

業務指標評価 T5：目標達成率110%以上、T4：90%以上110%未満、T3：70%以上90%未満、T2：50%以上70%未満、T1：50%未満

事業評価 A：拡大、B：継続推進、C+：積極的見直し、C-：一部改善、D+：統廃合、D-：縮小、E：休止・廃止、F：完了

第4次戦略推進計画 進捗管理シート（最終）

水道事業

事業番号 18 適正な水道料金の継続的な検討

対象：令和3（2021）年度

担当課	経営企画課		担当課長	小澤 昭洋				
経営方針	3 将来に繋げる水道（持続）		施策	（1）経営基盤の強化				
目的	水道料金は、水道法第14条で「能率的な経営の下における適正な原価に照らし公正妥当なものであること」と定められており、持続可能な水道事業経営を図るための適正な水道料金の検討を継続的にを行います。							
事業概要	概ね3年ごとに水道料金の見直しを行います。料金算定期間や適正な料金の算定にあたり第三者機関である「甲府市水道料金等審議会」を設置し、水道料金の審議をいただくとともに、適正な水道料金の検討を継続的にを行います。							
現状と課題	2020年度に「甲府市水道料金等審議会」を設置し、2021年度から2023年度までを算定期間とした水道料金について答申をいただき、その答申を尊重する中で、水道料金は改定しないこととしました。 水道料金の減収傾向が続く中、更なる人口減少や新型コロナウイルスの影響などにより、今後の水需要動向は減少傾向が強まることも予測されることから、適正な水道料金の継続的な検討が必要になります。							
事業計画	名称	年度		2021	2022	2023		
		説明						
	水道料金水準の確認・検討	現状の水道料金が適正な水準かどうか、決算状況等に基づく確認・検討						
	水道料金等審議会の設置	概ね3年に1度、適正な水道料金等について審議する第三者機関を設置						
業務指標	名称	目標値に対する取組状況等		目標値	100以上	100以上	100以上	
	料金回収率（%）	実績	供給単価 164.57 給水原価 136.14 ×100		実績	120.88	実績評価（担当）	T4
					2020年度末実績（参考）	116.90		
	名称	目標値に対する取組状況等		目標値	—	—	6	
	会議の回数（回）	実績	—		実績	—	実績評価（担当）	—
			2020年度末実績（参考）	7				
事業費予算額（千円）				—				
事業費決算額（千円）				—				
事業評価（担当）					B			
取組状況及び今後の展開（担当）		給水収益は減少傾向にあることから、令和5（2023）年度に設置予定の「甲府市水道料金等審議会」における適正な水道料金についての審議等に向けた継続的な確認・検討を行っていく。						
事業評価（推進委員会）					B			
推進委員会の意見等		更なる人口減少の影響などにより、今後の水需要動向は減少傾向が強まることも予測されることから、適正な水道料金について継続的に確認・検討を行うこと。						

業務指標評価 T5：目標達成率110%以上、T4：90%以上110%未満、T3：70%以上90%未満、T2：50%以上70%未満、T1：50%未満

事業評価 A：拡大、B：継続推進、C+：積極的見直し、C-：一部改善、D+：統廃合、D-：縮小、E：休止・廃止、F：完了

## 第4次戦略推進計画 進捗管理シート（最終）

### 水道事業

#### 事業番号19 給水台帳システムの整備

対象：令和3（2021）年度

担当課	給排水課		担当課長	今井 洋和		
経営方針	3将来に繋げる水道（持続）		施策	（1）経営基盤の強化		
目的	給水台帳の電子化を行い、給水台帳閲覧者への情報提供の迅速化等事務の効率化を図るとともに、地図情報管理システム（GIS）への統合について検討を行い給水業務の更なる効率化を推進します。					
事業概要	給水台帳及び私設補助管台帳について、電子化を図ります。					
現状と課題	給水台帳は随時電子化しています。今後は、給水台帳閲覧者への情報提供の迅速化と、効率化を図ることが重要です。更に業務の効率化を図るには、地図情報管理システム（GIS）への統合について検討する必要があります。					
事業計画	名称	説明	年度	2021	2022	2023
	給水台帳電子化	随時、給水台帳の電子化を図るとともに、既存私設補助管台帳と給水台帳との関連付けを図る。				
	地図情報管理システム（GIS）への統合について検討	統合に向けた検討				
業務指標	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	2,300	2,000	2,000
	電子化件数（件）	令和2（2020）年度で既存私設補助管台帳の電子化が完了したため、本年度においては、申請受理後の給水台帳の電子化を随時行った。	実績	1,995	実績評価（担当）	T3
			2020年度末実績（参考）	4,808		
事業費予算額（千円）				—		
事業費決算額（千円）				—		
事業評価（担当）					B	
取組状況及び今後の展開（担当）	引き続き、給水台帳の電子化を進め、情報提供の迅速化等によりお客様サービスの向上に努めるとともに、電子化された私設補助管台帳との連携及び地図情報管理システムへの統合についても検討を行い、更なる事務の効率化を図っていく。					
事業評価（推進委員会）					B	
推進委員会の意見等	今後も地図情報管理システムとの統合等を含めた積極的なデジタル技術の活用を検討し、業務の効率化に努めること。					

業務指標評価 T5：目標達成率110%以上、T4：90%以上110%未満、T3：70%以上90%未満、T2：50%以上70%未満、T1：50%未満

事業評価 A：拡大、B：継続推進、C+：積極的見直し、C-：一部改善、D+：統廃合、D-：縮小、E：休止・廃止、F：完了

## 第4次戦略推進計画 進捗管理シート（最終）

水道事業

事業番号20 上下水道事業アセットマネジメントシステムの運用等

対象：令和3（2021）年度

担当課	計画課・水道課・浄水課	担当課長	土橋 毅・山本 和男・米沢 繁明				
経営方針	3将来に繋げる水道（持続）	施策	（1）経営基盤の強化				
目的	水道施設更新計画の対象施設である管路施設並びに平瀬浄水場が保有する施設・設備のデータベース化を図り、施設の基本情報をはじめ、調査点検結果、更新修繕・履歴などの施設情報を一元的に管理することが可能なシステムを構築・運用することにより、適正かつ効率的な事業の実施を図ります。						
事業概要	平成27・28（2015・2016）年度にとりまとめた中長期にわたるアセットマネジメント手法を取り入れた更新計画を実施するため、情報のデータベース化を図るとともに、水道施設の調査点検及び更新・修繕の情報を管理するために構築した施設設備管理システムを運用します。また、運用に必要なデータを適切に管理するとともに、より利便性の高いシステムとするため、必要に応じて機能の修正・更新を図っていきます。						
現状と課題	管路施設のデータ管理については、地図情報管理システムを活用する中で進めることとし、浄水場及び配水施設のデータ管理を行う施設設備管理システムについては、更新計画や非常時における業務への活用に向け、システムデータの整備と更新を継続するとともに、システムの機能と操作性を検証しながら、適切に運用する必要があります。						
事業計画	名称	説明	年度	2021	2022	2023	
	アセットマネジメントシステムの運用	各施設データに、調査・計画等の情報を加え、施設管理や事業進捗管理ができるシステムの運用					
	浄水場等機能改善計画の策定	施設調査に基づく施設整備計画の策定に向けた基本計画					
	アセットマネジメントシステム更新	計画の策定に伴うシステム機能の更新					
業務指標	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	策定	—	—	
	浄水場等機能改善計画の策定	実績	浄水場等機能改善計画策定の基となる健全度評価業務委託を発注し、各施設の健全度評価を行った。	実績	策定中	実績評価（担当）	T3
				2020年度末実績（参考）	—		
	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	—	更新	—	
	アセットマネジメントシステムの更新	実績	—	実績	—	実績評価（担当）	—
			2020年度末実績（参考）	—			
事業費予算額（千円）				25,861			
事業費決算額（千円）				11,990			
事業評価（担当）					B		
取組状況及び今後の展開（担当）	健全度評価業務委託の結果を基に、新たな水運用計画との整合性を図る中で、浄水場等機能改善計画（水道施設等更新事業計画）の策定を行う。						
事業評価（推進委員会）					B		
推進委員会の意見等	浄水場等の調査を活かし、効率・効果的な施設等の更新計画を進めていくこと。						

業務指標評価 T5：目標達成率110%以上、T4：90%以上110%未満、T3：70%以上90%未満、T2：50%以上70%未満、T1：50%未満

事業評価 A：拡大、B：継続推進、C+：積極的見直し、C-：一部改善、D+：統廃合、D-：縮小、E：休止・廃止、F：完了



担当課	全課（総務課）		担当課長	芦澤 達也			
経営方針	3将来に繋げる水道（持続）		施策	（1）経営基盤の強化			
目的	Web会議により会議の所要時間、交通費等を削減し、遠隔地とのリアルタイムな通信により多様な働き方を実現するとともに、感染症まん延防止策としても意義がある非接触型会議により、事務の効率化を図ります。また、小型無人機（以下ドローンという。）やウェアラブルカメラ等によるデジタル技術を活用したデジタルトランスフォーメーション※（以下DXという。）を推進し、近年頻発する豪雨災害や大規模地震への備えのほか、熟練技術者らの退職に伴う人材育成が喫緊の課題となる中、先端技術を取り入れることで生活用水の持続的な安定供給に繋げていきます。						
事業概要	Web会議専用設備の活用により事務の効率化を推進します。また、ドローンやウェアラブルカメラの導入を図り、水道DXを推進します。						
現状と課題	厳しい経営環境が見込まれている中、経営基盤の強化を図っていくため経費節減や時間の有効活用等事務の効率化を図る必要があります。また、デジタル技術を活用した水道DXを推進し、生活用水の持続的な安定供給に繋げていく必要があります。						
事業計画	名称	説明	年度	2021	2022	2023	
	Web会議専用設備の活用	会議時のWeb会議専用設備の使用による効率化					
	ドローンの活用及びウェアラブルカメラの導入	水道DXの推進					
業務指標	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	導入	運用	運用	
	Web会議専用設備の導入・運用	実績	Web会議専用設備を導入し、移動時間の縮減による事務の効率化が図れた。	実績	導入	実績評価（担当）	T4
				2020年度末実績（参考）			-
事業費予算額（千円）				1,081			
事業費決算額（千円）				308			
事業評価（担当）					B		
取組状況及び今後の展開（担当）	コロナ禍において、他都市や県外事業者との会議・打合せが難しい状況の中、Web会議により、移動時間の縮減等による事務の効率化・経費削減が図れた。今後においてはドローンを利活用した施設設備の点検を行うなど、更なる水道DXの推進を目指していく。						
事業評価（推進委員会）					B		
推進委員会の意見等	Web会議やドローンなどのデジタル技術を活用し、経費節減や事務の効率化を今後も推進するように検討を行うこと。						

業務指標評価 T5：目標達成率110%以上、T4：90%以上110%未満、T3：70%以上90%未満、T2：50%以上70%未満、T1：50%未満

事業評価 A：拡大、B：継続推進、C+：積極の見直し、C-：一部改善、D+：統廃合、D-：縮小、E：休止・廃止、F：完了

第4次戦略推進計画 進捗管理シート（最終）

水道事業

事業番号22 水道事業広域連携の推進

対象：令和3（2021）年度

担当課	経営企画課		担当課長	小澤 昭洋			
経営方針	3将来に繋げる水道（持続）		施策	（2）広域連携の推進			
目的	将来的に経営環境が厳しくなることが見込まれることからスケールメリットによる効率化など経営基盤の安定化が図られるよう、事業者間の広域連携の検討を行います。						
事業概要	「山梨県市町村等水道事業の広域連携等に関する検討会議」への参画を通じて広域連携について検討を行います。また、2020年度に「甲府市連携中枢都市圏構想」に基づく連携中枢都市圏の形成に向け「水道の安定供給に向けた広域連携による持続可能な経営基盤の強化」がプロジェクト化されました。						
現状と課題	山梨県は国から2022年度までに「水道広域化推進プラン」の策定・公表を要請されていることから、「水道広域化推進プラン」の策定に向けた「山梨県市町村等水道事業の広域連携等に関する検討会議」へ積極的に参加し、事業者間の広域連携に対する共通認識を深めていく必要があります。 また、連携中枢都市圏構想に基づく連携中枢都市圏の形成に向け事業者間の協議を進めていく必要があります。						
事業計画	名称	年度		2021	2022	2023	
		説明					
	山梨県市町村等水道事業の広域連携等に関する検討会議	県及び県内市町村等と現状分析、将来予測及び広域連携等についての検討会議への参加					
	連携中枢都市圏構想に基づく連携中枢都市圏の形成（水道）	水道の安定供給に向けた広域連携による持続可能な経営基盤の強化のための準備					
業務指標	名称	目標値に対する取組状況等		目標値	2	2	
	経営会議（広域連携検討部会）の開催回数（回）	実績	広域連携検討部会の開催 ・第1回（令和3年7月15日） ・第2回（令和4年3月28日）		実績	2	実績評価（担当）
			2020年度末実績（参考）		2		T4
事業費予算額（千円）				—			
事業費決算額（千円）				—			
事業評価（担当）					B		
取組状況及び今後の展開（担当）		「水道広域化推進プラン」の令和4（2022）年度末までの策定が国から都道府県に要請されており、この策定に向けて山梨県が設置している県内事業者や市町村などの関係機関で構成する「山梨県市町村等水道事業の広域連携等に関する検討会議」に参画し、広域化への方向性等について協議していく。					
事業評価（推進委員会）					B		
推進委員会の意見等		「山梨県市町村等水道事業の広域連携等に関する検討会議」への参画を通じ、様々な連携可能性について検討を行い、効果的な広域連携の推進に努めること。					

業務指標評価 T5：目標達成率110%以上、T4：90%以上110%未満、T3：70%以上90%未満、T2：50%以上70%未満、T1：50%未満

事業評価 A：拡大、B：継続推進、C+：積極的見直し、C-：一部改善、D+：統廃合、D-：縮小、E：休止・廃止、F：完了

## 第4次戦略推進計画 進捗管理シート（最終）

### 水道事業

事業番号23 鉛製給水管対策事業（第六次甲府市総合計画実施計画  
事業番号 上下-7）

対象：令和3（2021）年度

担当課	水道課・給排水課	担当課長	山本和男・今井洋和				
経営方針	3将来に繋げる水道（持続）	施策	（3）有収率の向上				
目的	水道水の安全性を高めるとともに、漏水を防止し有収率の向上を図るため、鉛製給水管の早期解消に努めます。						
事業概要	公道部に残存する鉛製給水管について、配水管布設替工事及び漏水修理工事に伴う布設替を実施するとともに、平成26（2014）年度に策定した「鉛製給水管布設替基本計画」に基づき、面的整備による布設替、及び給水装置改造工事における公道部鉛製給水管の同時布設替を実施します。						
現状と課題	令和元（2019）年度末残存件数は22,242件となっており、鉛製給水管率は約26%です。下水道工事に伴う配水管布設替工事の減少の影響から目標とする布設替件数の確保が難しくなっています。給水装置改造工事において可能な布設替を行うとともに、配水管更新工事との連携を一層強めながら布設替件数の拡大を図る必要があります。						
事業計画	名称	説明	年度	2021	2022	2023	
	鉛製給水管布設替事業	配水管布設替工事、漏水修理工事及び基本計画による面的整備工事による鉛製給水管布設替					
	給水装置工事に伴う布設替事業の実施	給水装置の改造工事申請に伴う鉛製給水管布設替					
業務指標	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	900	900	900	
	単年度布設替件数（件）	実績	配水管布設替工事に伴う布設替え154件 漏水修理工事に伴う布設替え220件 面的整備に伴う布設替え275件	実績	649	実績評価（担当）	T3
				2020年度末実績（参考）	635		
	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	23.50	22.30	21.11	
鉛製給水管率（%）	実績	令和2（2020）年度末の鉛製給水管21,607件に対して、649件の布設替えを完了した。	実績	24.33	実績評価（担当）	T3	
			2020年度末実績（参考）	25.26			
事業費予算額（千円）				314,335			
事業費決算額（千円）				284,586			
事業評価（担当）					C+		
取組状況及び今後の展開（担当）	面的整備に伴う布設替件数は増加したが、経年管路の更新工事の一部が発注時期の調整により翌年度に繰越となったことから、布設替件数は前年度に比べ微増にとどまった。経年管路の計画的な更新と従来の面的整備に加え、宅内給水工事に伴う公道部鉛製給水管の同時布設替を実施することで、布設替件数の拡大を推進していく。						
事業評価（推進委員会）					C+		
推進委員会の意見等	鉛製給水管の面的整備箇所の適切な選定と、宅内給水工事に伴う同時布設替を着実に進めるとともに、経年管路の更新事業とも連携を図る中で布設替件数の増加に努めること。						

業務指標評価 T5：目標達成率110%以上、T4：90%以上110%未満、T3：70%以上90%未満、T2：50%以上70%未満、T1：50%未満

事業評価 A：拡大、B：継続推進、C+：積極的見直し、C-：一部改善、D+：統廃合、D-：縮小、E：休止・廃止、F：完了

第4次戦略推進計画 進捗管理シート（最終）

水道事業

事業番号24 漏水防止対策事業

対象：令和3（2021）年度

担当課	水道課		担当課長	山本 和男		
経営方針	3将来に繋げる水道（持続）		施策	（3）有収率の向上		
目的	漏水による経済的損失を抑制し有収率の向上を図り、安定した給水サービスを提供するとともに、貴重な水資源の有効利用を図るため、漏水防止対策の強化に努めます。					
事業概要	地上漏水の迅速な修理を行うとともに、計画的な漏水調査を実施し地下漏水の防止に努めます。また、「水道管路耐震化事業」「鉛製給水管対策事業」についても計画的に進め、漏水を未然に防止します。					
現状と課題	令和元（2019）年度末の有収率は、2018年度に比べて0.25ポイント改善し82.90%となりましたが、全国平均の90%を下回っていることから、更なる対策の強化が必要です。					
事業計画	名称	説明	年度	2021	2022	2023
	漏水調査・修理業務		漏水調査方法の見直しによる効果的な地下漏水の防止			
業務指標	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	全戸数	全戸数	全戸数
	漏水調査件数（件）	実績	時間積分式漏水発見器により、総検針戸数130,922戸のうち特殊集団住宅を除く94,670戸の一次調査を実施し、漏水が疑われる6,186戸の二次調査を実施した。	実績	94,670	実績評価（担当） T4
				2020年度末実績（参考）	97,973	
	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	83.10	83.67	84.24
有収率（%） ※重要業務指標	実績	サービスセンターと連携した時間積分式漏水発見器による調査に加え、監視型配水管漏水調査を並行して実施する中で、効率的な漏水防止対策の推進を図った。	実績	85.93	実績評価（担当） T4	
				2020年度末実績（参考）	85.36	
事業費予算額（千円）				84,404		
事業費決算額（千円）				57,493		
事業評価（担当）					B	
取組状況及び今後の展開（担当）	時間積分式漏水発見器による全戸調査を継続し、研修を通じた調査員の技能向上を図るとともに、監視型配水管漏水調査による配水管および未使用のまま残存する給水管の漏水調査と併せ、地下漏水発見件数の増加に努める。					
事業評価（推進委員会）					B	
推進委員会の意見等	効率的かつ効果的な漏水調査に努め、漏水の早期発見と更なる有収率の向上を図ること。					

業務指標評価 T5：目標達成率110%以上、T4：90%以上110%未満、T3：70%以上90%未満、T2：50%以上70%未満、T1：50%未満

事業評価 A：拡大、B：継続推進、C+：積極的見直し、C-：一部改善、D+：統廃合、D-：縮小、E：休止・廃止、F：完了

第4次戦略推進計画 進捗管理シート（最終）

水道事業

事業番号25 人材育成、技術・経営ノウハウの継承

対象：令和3（2021）年度

担当課	総務課	担当課長	芦澤 達也			
経営方針	3将来に繋げる水道（持続）	施策	（4）技術・経営ノウハウの継承			
目的	「与えられる研修」と「自主的に参加する研修」の両面から職員の能力と意欲の向上を高めていきます。 また、業務管理能力・技術力の両面を強化するための職員研修の充実やマニュアルを見直し、スペシャリストの養成、技術の継承を図っていきます。					
事業概要	外部研修（研修・研究機関等への派遣研修の充実）、内部研修（職場内研修(OJT)）の充実、業務上必要な資格取得の支援（自己啓発支援）、公募によるスペシャリスト養成制度の実施、出前事業の実施、マニュアルの更新・整備を推進します。					
現状と課題	今後、退職する職員数を勘案する中で、技術の継承・向上が図られる人材育成に努める必要があります。また、感染症まん延等により集合研修の開催が困難な場合、オンライン研修等の代替策を準備しておく必要があります。					
事業計画	名称	説明	年度	2021	2022	2023
	各種研修の充実・資格取得の充実	業務管理能力・技術力の両面を強化するための職員研修の充実によるスペシャリストの養成、技術の継承				
	マニュアルの更新・整備					
業務指標	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	24.73	25.10	25.48
	研修時間（h） ※重要業務指標	実績 コロナ禍の影響で、研修機関等のオンライン研修が広がり、外部研修は、オンライン研修を中心に1687時間延べ275名の職員が受講した。 内部研修は、職場研修（OJT）の実施を中心に1,799時間延べ1,242名の職員が受講した。	実績	21.25	実績評価（担当）	T3
				2020年度末実績（参考）	13.32	
事業費予算額（千円）			3,979			
事業費決算額（千円）			1,210			
事業評価（担当）					B	
取組状況及び今後の展開（担当）		オンライン研修を中心に、研修機関等による外部の専門研修を積極的に受講し、スキルの向上を図る。また、技術・経営ノウハウの継承のため、各課での職場研修（OJT）の実施を積極的に周知していく。				
事業評価（推進委員会）					B	
推進委員会の意見等		技術・経営ノウハウの継承は、今後の事業運営において重要なテーマであるため、中長期的な視点を持つ中で、効果的な人材育成に努めること。 今後においては、オンライン研修の充実を図る上で、集中して受講できる環境作りに努めること。また、コロナ禍の状況を鑑みながら、県外で開催される技術職員対象の専門研修への参加機会も増やしていくこと。				

業務指標評価 T5：目標達成率110%以上、T4：90%以上110%未満、T3：70%以上90%未満、T2：50%以上70%未満、T1：50%未満

事業評価 A：拡大、B：継続推進、C+：積極的見直し、C-：一部改善、D+：統廃合、D-：縮小、E：休止・廃止、F：完了

## 第4次戦略推進計画 進捗管理シート（最終）

水道事業

事業番号26 戦略的PR活動の展開

対象：令和3（2021）年度

担当課	経営企画課		担当課長	小澤 昭洋		
経営方針	4 お客様満足度の高い水道(信頼)		施策	(1) 親しみやすく、わかりやすい情報の提供		
目的	水道事業の施策や経営状況等について広報活動を行うとともに、多様化するお客様ニーズを的確に把握し、お客様の理解を深めることで満足度の向上を図ります。					
事業概要	事業内容や経営状況を様々な媒体を活用し、積極的かつ効果的な情報提供に努め、上下水道事業への理解を深めていただくための戦略的なPR活動を展開します。					
現状と課題	モンドセレクション最高金賞受賞したボトルドウォーター「甲府の水」を活用した安全でおいしい水道水等の周知活動に取り組んでいます。また、将来を担う子供たちも含め市民に広く水道事業の実情について理解を得ることが重要であることから、新たに作成した教育小冊子を効果的な活用など、更なるPR活動の検討を行います。					
事業計画	名称	説明	年度	2021	2022	2023
	広報・PR活動	ボトルドウォーター「甲府の水」、教育小冊子などを活用した広報・PR活動				
	更なるPR活動の検討	効果的かつわかりやすい情報提供など、更なるPR活動の検討				
	更なるPR活動の推進	効果的かつわかりやすい情報提供など、更なるPR活動の推進				
業務指標	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	15,000	15,000	15,000
	「甲府の水」配布数（本）	実績 ・イベント等（信玄誕生500年記念事業、児童福祉週間、親子水源観察会等） 12,757本 ・ふるさと納税返礼品 984本 等	実績	20,629	実績評価（担当）	T5
			2020年度末実績（参考）	23,564		
	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	3,000	3,000	3,000
「教育小冊子」配布数（冊）	実績 ・小学校社会科見学 2,656冊 ・給水区域内主要施設（市役所・図書館・公民館等） 1,000冊 ・イベント等 236冊 等	実績	4,409	実績評価（担当）	T5	
		2020年度末実績（参考）	-			
事業費予算額（千円）				9,360		
事業費決算額（千円）				7,096		
事業評価（担当）					B	
取組状況及び今後の展開（担当）	「甲府の水」及び「教育小冊子」の配布を通じて、水道事業のPR活動に努めた。また、更なるPR活動として、新たに「特設WEBサイト」を開設し、水道事業への理解促進に努めた。引き続き、これらコンテンツを積極的に活用し、お客様に水道事業をより身近に感じ、理解していただけるようPR活動に努めていく。					
事業評価（推進委員会）					B	
推進委員会の意見等	「甲府の水」や「教育小冊子」を活かしたPR活動を継続するとともに、新たに開設した「特設WEBサイト」の充実を図り、水道事業のPR活動に努めること。					

業務指標評価 T5：目標達成率110%以上、T4：90%以上110%未満、T3：70%以上90%未満、T2：50%以上70%未満、T1：50%未満

事業評価 A：拡大、B：継続推進、C+：積極的見直し、C-：一部改善、D+：統廃合、D-：縮小、E：休止・廃止、F：完了

第4次戦略推進計画 進捗管理シート（最終）

水道事業

事業番号27 情報共有、協働による相互理解を深めた事業運営（広報等）

対象：令和3（2021）年度

担当課	経営企画課		担当課長	小澤 昭洋		
経営方針	4 お客様満足度の高い水道(信頼)		施策	(1) 親しみやすく、わかりやすい情報の提供		
目的	生活に欠かせない水道水を安心して利用していただくため、お客様からの水道事業や水道水に対するご意見等を事業運営に活かしていただけるよう、情報発信・情報収集を行います。					
事業概要	ホームページを活用し、広く分かりやすい情報発信を行います。また、お客様満足度調査やモニター制度を活用し、幅広いお客様からより多くの声を聞き、事業に活かせるよう様々な媒体を通じて情報収集に努めます。さらに、経営戦略の着実な推進を図るため、経営全般についての第三者機関の充実を図ります。					
現状と課題	局ホームページによる情報提供、お客様満足度調査、インターネットモニター等を実施しています。また、第三者機関である「甲府市上下水道事業推進会議」を設置し、経営戦略の推進等に係る意見等をいただいています。水道事業に対する実感度は高いものの、様々な取り組みに対する認知度が低い状況が伺えることから、事業に関するより多くの意見を拝聴する必要があります。					
事業計画	名称	説明	年度	2021	2022	2023
	ホームページ情報共有	ホームページを活用した情報共有				
	インターネットモニター制度	インターネットを活用したアンケート調査等の実施				
	お客さま満足度調査	給水区域内世帯、事業所へのアンケート調査				
	甲府市上下水道事業推進会議の設置	経営戦略の推進等に係る意見等の聴取				
業務指標	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	3	4	—
	甲府市上下水道事業推進会議開催数(回)	実績	実績	3	実績評価(担当)	T4
		甲府市上下水道事業推進会議 3回開催 ・第1回(令和3年7月29日) ・第2回(令和3年11月24日) ・第3回(令和4年2月18日)※書面開催	2020年度末実績(参考)	2		
	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	2	2	2
	モニター調査回数(回)	実績	実績	2	実績評価(担当)	T4
		実施回数：2回 モニター：41名 ・第1回：水道料金・下水道使用料、上下水道施設、広報について ・第2回：上下水道の利用、災害対策、水源保全、上下水道の課題について	2020年度末実績(参考)	4		
名称	目標値に対する取組状況等	目標値	3.33	3.33	3.33	
市民実感度調査(ポイント) ※重要業務指標	実績	実績	—	実績評価(担当)	—	
	令和3(2021)年度未実施 ※令和元(2019)年度 市民実感度調査(市企画財務部)42施策中1位 質問内容：「安全でおいしい水が安定的に供給されている」	2020年度末実績(参考)	—			
事業費予算額(千円)				1,536		
事業費決算額(千円)				1,504		
事業評価(担当)					B	
取組状況及び今後の展開(担当)	インターネットモニター及び令和3(2021)年度に設置した「甲府市上下水道事業推進会議」から事業全般について幅広い意見をいただいた。引き続き、これら制度を通してお客様から意見をお聞きする中で、経営戦略の着実な推進を図っていく。					
事業評価(推進委員会)					B	
推進委員会の意見等	「上下水道事業推進会議」からの意見等について適切に事業に反映させるとともに、各種調査等を通して、お客様からの情報収集に努めること。					

業務指標評価 T5：目標達成率110%以上、T4：90%以上110%未満、T3：70%以上90%未満、T2：50%以上70%未満、T1：50%未満

事業評価 A：拡大、B：継続推進、C+：積極的見直し、C-：一部改善、D+：統廃合、D-：縮小、E：休止・廃止、F：完了

第4次戦略推進計画 進捗管理シート（最終）

水道事業

事業番号28 水質検査情報の公表

対象：令和3（2021）年度

担当課	浄水課		担当課長	米沢 繁明		
経営方針	4 お客様満足度の高い水道(信頼)		施策	(1) 親しみやすく、わかりやすい情報の提供		
目的	安心して水道水を使用していただくため、水質検査情報を積極的に公表し、お客様と情報の共有化及び双方向性の向上を図ります。					
事業概要	水質検査は、水道水の安全性を保証するものであり、広くお客様に安心して水道水を使用していただけるよう、水質検査情報の公表を行います。また、水質に関する疑問・問合せ等には適切に丁寧な対応をします。					
現状と課題	「お客様満足度調査」（令和元年度）において、「水道水の水質に安心している」との回答は、88.1%と高い水準ですが、甲府の水道水の水質について更にPRし、安全性の高さを知っていただき、今後も、お客様満足度が向上するよう、努める必要があります。					
事業計画	名称	説明	年度	2021	2022	2023
	ホームページ情報発信	水質基準項目 給水12ヶ所×年4回				
	水質検査に関する意見反映	水質検査に関する意見の「水質検査計画」への反映				
業務指標	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	4	4	4
	ホームページ掲載回数	実績	水質基準項目 給水12ヶ所×年4回	4	実績評価 (担当)	T4
				2020年度末 実績(参考)	4	
	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	—	90.00	—
	お客様満足度調査による満足度指数(%)	実績	—	—	実績評価 (担当)	—
			2020年度末 実績(参考)	—		
事業費予算額(千円)				—		
事業費決算額(千円)				—		
事業評価(担当)					B	
取組状況及び今後の展開(担当)	今後も継続して水質検査結果を甲府市上下水道局ホームページに掲載し、水道水の安全性の周知に努める。					
事業評価(推進委員会)					B	
推進委員会の意見等	今後も安心して水道水を使用していただくために、水質検査情報を積極的に公表していくこと。					

業務指標評価 T5：目標達成率110%以上、T4：90%以上110%未満、T3：70%以上90%未満、T2：50%以上70%未満、T1：50%未満

事業評価 A：拡大、B：継続推進、C+：積極的見直し、C-：一部改善、D+：統廃合、D-：縮小、E：休止・廃止、F：完了



## 第4次戦略推進計画 進捗管理シート（最終）

水道事業

事業番号29 顧客満足度向上事業

対象：令和3（2021）年度

担当課	営業課		担当課長	長田 和平		
経営方針	4 お客様満足度の高い水道(信頼)		施策	(2) お客様の利便性の向上		
目的	水道料金に関する各種手続きや支払方法等におけるお客様ニーズを的確に把握・反映するとともに、その利用の促進に努め、お客様満足度の向上を図ります。					
事業概要	インターネットを利用し、ホームページからの水道使用開始及び中止の手続きや、水道使用開始申込書・口座振替依頼書・クレジットカード払い申込書の請求手続きに関して、利用者の増加に向けPRを行います。また、新たな支払方法の導入について検討します。					
現状と課題	口座振替やクレジットカード払いの申込書は、ホームページから請求できるようにしたことにより手続きの簡素化が図られています。また、支払方法の多様化からスマートフォンを利用したPayPayとLINE Payを導入しており、今後も提供しているサービスのPRを行うとともに、更なるお客様満足度の向上を図っていきます。					
事業計画	名称	説明	年度	2021	2022	2023
	支払方法の検討	多様化する支払方法の導入について検討				
	インターネットによる手続きの促進	ホームページからの各種手続き等の利用者増加に向けたPR方法の検討				
業務指標	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	4.45	4.45	4.45
	インターネット利用率（%）	実績	実績	6.52	実績評価（担当）	T5
		ホームページなどにより、水道使用開始・中止の手続きや口座振替依頼書・クレジットカード払い申込書の請求手続きのPRを行い、各種手続におけるインターネット利用が増加している。	2020年度末実績（参考）		—	
事業費予算額（千円）				—		
事業費決算額（千円）				—		
事業評価（担当）					B	
取組状況及び今後の展開（担当）	今後も、ホームページからの水道使用開始及び中止の手続きや、水道使用申込書・口座振替依頼書・クレジットカード払い申込書の請求手続きについて利用者の増加に向けPRを行い、インターネット利用の促進を図る。					
事業評価（推進委員会）					B	
推進委員会の意見等	今後においても、現在提供しているサービスの検証を行うとともに、各種手続きや支払方法に関するニーズを把握し、お客様の満足度向上に努めること。					

業務指標評価 T5：目標達成率110%以上、T4：90%以上110%未満、T3：70%以上90%未満、T2：50%以上70%未満、T1：50%未満

事業評価 A：拡大、B：継続推進、C+：積極的見直し、C-：一部改善、D+：統廃合、D-：縮小、E：休止・廃止、F：完了

## 第4次戦略推進計画 進捗管理シート（最終）

水道事業

事業番号30 環境・エネルギー利活用事業（本局）

対象：令和3（2021）年度

担当課	総務課	担当課長	芦澤 達也				
経営方針	5 環境に配慮した水道(環境)	施策	(1) 環境保全への貢献				
目的	太陽光発電の利用及び庁用自動車のガソリン使用量削減による環境負荷の軽減						
事業概要	本局の庁舎に設置された太陽光発電施設の活用。庁用自動車の低排出ガス認定車（ハイブリッド・電気）の導入。						
現状と課題	太陽光発電システムを用いて本局の庁舎の電力使用量の一部を賄うとともに、ハイブリッド車に加え令和元年度に電気自動車2台を導入しました。庁用自動車の更新においては、より環境負荷の軽減を図っていくため、運行状況や業務適性などを考慮する中で、クリーンエネルギー自動車の導入について検討していく必要があります。						
事業計画	名称	説明	年度	2021	2022	2023	
	太陽光発電システム活用	本局の庁舎屋上に設置し、本局の庁舎で使用する電力の一部を賄うもの					
	低排出ガス認定車の導入	ハイブリッド車に加え庁用車に電気自動車の導入					
業務指標	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	8.47	8.47	8.47	
	CO2削減量（t）	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気自動車 走行距離 6,292km</li> <li>CO2削減量 0.55（t）</li> <li>・太陽光発電 発電量 15,163kwh</li> <li>CO2削減量 6.69（t）</li> </ul>	実績	7.24	実績評価（担当）	T3
			2020年度末実績（参考）		-		
事業費予算額（千円）				1,318			
事業費決算額（千円）				1,318			
事業評価（担当）					B		
取組状況及び今後の展開（担当）		太陽光発電・庁用電気自動車を効果的に活用し、引き続き、環境負荷の軽減に努めていく。					
事業評価（推進委員会）					B		
推進委員会の意見等		引き続き、太陽光発電施設を活用していくとともに、庁用自動車の効果的な利活用に努めること。					

業務指標評価 T5：目標達成率110%以上、T4：90%以上110%未満、T3：70%以上90%未満、T2：50%以上70%未満、T1：50%未満

事業評価 A：拡大、B：継続推進、C+：積極的見直し、C-：一部改善、D+：統廃合、D-：縮小、E：休止・廃止、F：完了

## 第4次戦略推進計画 進捗管理シート（最終）

### 水道事業

#### 事業番号31 水道施設を利用した再生可能エネルギー利活用事業

対象：令和3（2021）年度

担当課	計画課・浄水課	担当課長	土橋 毅・米沢 繁明				
経営方針	5 環境に配慮した水道(環境)	施策	(1) 環境保全への貢献				
目的	温室効果ガスを削減し環境負荷の軽減に貢献するため、水道施設を利用した再生可能エネルギーの利活用を推進します。						
事業概要	落差による水力エネルギーを活用した小水力発電など再生可能エネルギーの利活用に取り組みます。						
現状と課題	水道事業は、水道水を供給する過程において様々な環境負荷を与えており、公益サービスの提供者という立場から、環境保全に対する社会的責任を率先して果たすことが強く求められています。現在、山宮減圧槽施設内において小水力発電を行っていますが、今後は、他の水道施設についても小水力発電設備などの設置について検討を進め、再生可能エネルギーの利活用拡大を図る必要があります。						
事業計画	名称	説明	年度	2021	2022	2023	
	山宮発電所小水力発電	東京発電との山宮減圧槽施設内への小水力発電設備設置による小水力発電の取り組み（契約年度2009～2028）					
業務指標	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	335	335	335	
	CO2削減量（t）	実績	総発電量は、1,336.823Kwhであり、CO2排出量に換算して605.581tを削減した。	実績	605	実績評価（担当）	T5
				2020年度末実績（参考）	433		
事業費予算額（千円）				—			
事業費決算額（千円）				—			
事業評価（担当）					B		
取組状況及び今後の展開（担当）	山宮発電事業については、昨年度メンテナンスが終わり順調に発電した。今後も環境負荷の軽減に貢献する。						
事業評価（推進委員会）					B		
推進委員会の意見等	今後も小水力発電など再生可能エネルギーの利活用に取り組み、環境負荷の軽減を行うこと。						

業務指標評価 T5：目標達成率110%以上、T4：90%以上110%未満、T3：70%以上90%未満、T2：50%以上70%未満、T1：50%未満

事業評価 A：拡大、B：継続推進、C+：積極的見直し、C-：一部改善、D+：統廃合、D-：縮小、E：休止・廃止、F：完了

第4次戦略推進計画 進捗管理シート（最終）

水道事業

事業番号32 効率的な水運用の推進

対象：令和3（2021）年度

担当課	計画課・水道課・浄水課		担当課長	土橋 毅・山本 和男・米沢 繁明			
経営方針	5 環境に配慮した水道(環境)		施策	(2) 効率的な水運用			
目的	継続的な水需要の減少により生じる浄水能力の余剰を最小限に抑えるため、最適な水道システムを構築します。						
事業概要	荒川表流水を水源とし自然流下で配水を行う平瀬系と、地下水を水源としポンプ圧送配水を行う昭和系について、施設能力を効率的に利用するための調整を行うとともに、平瀬・昭和系から中道系への給水を含め、今後の水需要に即した給水区域全体の取水・配水計画を策定し、最適な水道システムの構築による効率的な水運用を図ります。						
現状と課題	水需要の減少が当初の予測を上回る状態の中で、平瀬・昭和浄水場の施設利用率が低下していることから、最新の水需要予測の下、現在の水運用計画を見直し浄水場の利用率改善を図る必要があります。また、新たな水運用計画の下、主要施設及び管路の整備計画を見直す必要があります。						
事業計画	名称	説明	年度	2021	2022	2023	
	水運用計画の策定	最新の水需要に基づき、現在の水運用計画を見直す					
	水運用計画に基づく配水管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>山宮減圧槽系幹線の運用拡大</li> <li>和田低区系配水区域の確立</li> <li>平瀬・昭和系からの中道系給水の拡大及び北部配水区域の統合</li> <li>その他</li> </ul>					
業務指標	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	策定	—	—	
	計画策定	実績	最新の水需要予測を基に、平瀬系と昭和系の運用方法を検討し、浄水場及び主要配水池等の施設能力について算定したが、県で進めている「山梨県水道広域化推進プラン」との調整が必要な状況となった。	実績	策定中	実績評価(担当)	T3
				2020年度末実績(参考)	—		
	名称	目標値に対する取組状況等	目標値	46.00	46.00	46.00	
施設利用率(%)	実績	平瀬浄水場を主軸とした水運用を行った。	実績	44.18	実績評価(担当)	T4	
			2020年度末実績(参考)	44.73			
事業費予算額(千円)				33,000			
事業費決算額(千円)				0			
事業評価(担当)					B		
取組状況及び今後の展開(担当)	山梨県で現在策定中である「山梨県水道広域化推進プラン」を踏まえ、新たな水運用計画を策定し、効率的な水運用及び施設更新を進める。また、荒川水利使用許可が減量での認可となったことと給水量の減少による施設利用率の低下を踏まえ、施設更新時のダウンサイジングなど新たな対策の検討が必要である。						
事業評価(推進委員会)					B		
推進委員会の意見等	山梨県水道広域化推進プランを踏まえた水運用計画の策定を進めるとともに、施設更新に伴うダウンサイジングなど効率的な水運用に努めること。						

業務指標評価 T5：目標達成率110%以上、T4：90%以上110%未満、T3：70%以上90%未満、T2：50%以上70%未満、T1：50%未満

事業評価 A：拡大、B：継続推進、C+：積極的見直し、C-：一部改善、D+：統廃合、D-：縮小、E：休止・廃止、F：完了

甲府市上下水道事業経営戦略(水道事業) 重要業務指標(KPI 10項目) 3績評価一覧表 令和3(2021)年度 3月末

経営方針	施策	KPI	説明	平成28 (2016) 年度	平成30 (2018) 年度	令和元 (2019) 年度	令和2 (2020) 年度	令和3 (2021) 年度 目標値	中間評価	令和3 (2021) 年度 目標値	備考
				実績値	実績値	実績値	実績値	中間値		実績値	
				基準値	初年度	参考	参考	実績見込値		見込値評価	
1 安全でおいしい水道(安全)	(1) 水源保全の推進	水源保全活動の参加者数(人)	水源保全活動状況を表す指標(多いほどよい)	746	736	476	131	750	遅延	750	○水道管理室 水保全課 第4次計画 事業No.1
								72		237	
								223		T1	
(2) 水質管理の充実	平均残留塩素濃度(mg/l)	水道の水の安全及び塩素臭発生に与える影響を表す指標(給水区域の末端で遊離残留塩素濃度0.1mg/l以上を満たすことが必要)	0.1	0.29	0.30	0.28	0.10~0.35	順調	0.10~0.35	○水道管理室 浄水課	
			~				0.27		0.27		
			0.35				0.27		T4		T4
(3) 給水装置等の安全管理の推進	貯水槽水道指導率(%)	私有財産である貯水槽水道への水道事業者の関与状況を表す指標(高いほどよい)	94.40	96.39	98.21	96.44	97.00	順調	97.00	○営業管理室 給排水課 第4次計画 事業No.6	
							97.90		98.54		
							98.00		T4		T4
2 災害に強くしなやかな水道(強靱)	(1) 危機管理対策の強化	災害対策訓練実施回数(回)	自然災害等に対する危機対応性を表す指標(多いほどよい)	8	10	11	10	9	順調	9	○全課(業務総室 総務課) 第4次計画 事業No.8
								2		10	
								13		T5	
(2) 管路・施設の更新及び耐震化の推進	管路の耐震管理率(%)	地震災害に対する水道管路網の安全性・信頼性を表す指標(高いほどよい)	11.99	14.61	15.92	17.03	17.71	順調	17.71	○水道管理室 水道課 第4次計画 事業No.10 総合計画 施策成果指標	
							17.44		18.11		
							17.71		T4		T4
3 将来に繋げる水道(持続)	(1) 経営基盤の強化	経常収支比率(%)	経常費用が経常収益によってどこまで賄われているかを示す指標(100%以上であることが必要)	129.30	128.19	122.14	120.46	100.00以上	順調	100.00以上	○業務総室 経営企画課 経営分析指標
								123.38		124.14	
								123.38		T4	
(3) 有収率の向上	有収率(%)	給水される水量がどの程度、収益につながっているかを表す指標(高いほどよい)	81.19	82.65	82.90	85.36	83.10	順調	83.10	○水道管理室 水道課 第4次計画 事業No.24 総合計画 施策成果指標	
							86.28		85.93		
							86.58		T4		T4
(4) 技術・経営ノウハウの継承	研修時間(時間)	職員の資質向上のための取組状況を表す指標(高いほどよい)	22.88	23.74	26.83	13.32	24.73	遅延	24.73	○業務総室 総務課 第4次計画 事業No.25	
							9.63		21.25		
							18.36		T3		T3
4 高い水道満足度の高い水道(信頼)	(1) 親しみやすく、わかりやすい情報提供	水道水の安定供給についての市民実感度(ポイント)	甲府市が実施する市民実感度調査の実感度(ポイントが高いほど満足度が高い、最高4ポイント)	3.33	3.41	3.42	—	3.33	—	3.33	○業務総室 経営企画課 第4次計画 事業No.27 4年連続42項目中第1位 質問内容「安全でおいしい水が安定的に供給されている。」 令和3(2021)年度未実施(企画部財務部)
								—		—	
								—		—	
5 水道環境に配慮した	(1) 環境保全への貢献	取水・浄水・配水施設の年間電力使用量(千kwh)	省エネルギー対策への取り組み度合いを表す指標(低いほどよい)	4.727	4.579	4.556	4.562	4.495	順調	4.495	○水道管理室 水道課・浄水課
								1.927		4.123	
								4.495		T4	

指標実績評価 T5：目標達成率110%以上、T4：90%以上110%未満、T3：70%以上90%未満、T2：50%以上70%未満、T1：50%未満

※経営方針3 将来に繋げる水道(持続)の施策(2)「広域連携の推進」及び経営方針5 環境に配慮した水道(環境)の施策(2)「効率的な水運用」については、KPIの設定なし

## 第4次戦略推進計画(水道事業) 予算・決算増減比較表

○収益的収支(各家庭に水道水をお届けするための経費と財源)

(税抜/単位：百万円)

年度等 区分		2021(令和3)年度				増減 (決算-予算)	増減理由等
		当初予算額	補正額等	最終予算額	決算額		
収益的 収入	1 営業収益	4,262	0	4,262	4,407	145	・料金収入の増加
	(1) 料金収入	4,207	0	4,207	4,346	139	
	(2) 受託工事収益	32	0	32	33	1	
	(3) その他	23	0	23	28	5	
	2 営業外収益	1,153	0	1,153	1,102	51	
	(1) 補助金	14	0	14	11	3	
	他会計補助金	14	0	14	11	3	
	その他補助金	0	0	0	0	0	
	(2) 長期前受金戻入	785	0	785	762	23	
	(3) その他	354	0	354	329	25	
収入計(A)	5,415	0	5,415	5,509	196		

(税抜/単位：百万円)

年度等 区分		2021(令和3)年度				増減 (予算-決算)	増減理由等
		当初予算額	補正額等	最終予算額	決算額		
収益的 支出	1 営業費用	4,611	0	4,611	4,377	234	・浄水及び配水施設の 維持管理費用(委託料、 修繕費、動力費等)の減少
	(1) 職員給与費	699	0	699	610	89	
	基本給	298	0	298	273	25	
	退職給付費	84	0	84	57	27	
	その他	317	0	317	280	37	
	(2) 経費	1,633	0	1,633	1,535	98	
	動力費	96	0	96	86	10	
	修繕費	379	0	379	370	9	
	材料費	36	0	36	45	△9	
	その他	1,122	0	1,122	1,034	88	
(3) 減価償却費	2,279	0	2,279	2,232	47		
2 営業外費用	63	0	63	61	2		
(1) 支払利息	53	0	53	53	0		
(2) その他	10	0	10	8	2		
支出計(B)	4,674	0	4,674	4,438	236		

経常損益(A)-(B)(C)	741	0	741	1,071	330
----------------	-----	---	-----	-------	-----

特別利益(D)	5	0	5	12	7
特別損失(E)	20	0	20	15	△5
特別損益(D)-(E)(F)	△15	0	△15	△3	12
当年度純利益(又は純損失)(C)+(F)	726	0	726	1,068	342

## 第4次戦略推進計画(水道事業) 予算・決算増減比較表

○資本的収支(水道施設を建設・改良するための経費と財源)

(税込/単位：百万円)

区 分		2021(令和3)年度					増減理由等
		当初予算額	補正額等	最終予算額	決算額	増減 (決算-予算)	
資 本 的 収 入	1 企業債	1,256	0	1,256	110	△ 1,146	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業債借入額の減少</li> <li>・他企業等からの工事負担金収入の減少</li> </ul>
	うち資本費平準化債	0	0	0	0	0	
	2 他会計出資金	0	0	0	0	0	
	3 他会計補助金	0	0	0	0	0	
	4 他会計負担金	0	0	0	0	0	
	5 他会計借入金	0	0	0	0	0	
	6 国(都道府県)補助金	0	0	0	0	0	
	7 固定資産売却代金	0	0	0	5	5	
	8 工事負担金	231	39	270	105	△ 165	
	9 その他	176	0	176	171	△ 5	
	計 (A)	1,663	39	1,702	391	△ 1,311	
(A)のうち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額 (B)	0	0	966	0	—		
純計 (A)-(B) (C)	1,663	39	736	391	—		

(税込/単位：百万円)

区 分		2021(令和3)年度					増減理由等	
		当初予算額	補正額等	最終予算額	決算額	翌年度繰越額		不用額
資 本 的 支 出	1 建設改良費	3,377	1,273	4,650	2,431	1,656	563	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更新工事、委託業務等費用の減少</li> </ul>
	うち職員給与費	133	0	133	118	0	15	
	2 企業債償還金	498	0	498	498	0	0	
	既往分	498	0	498	498	0	0	
	新規分	0	0	0	0	0	0	
	3 他会計長期借入返還金	0	0	0	0	0	0	
	4 他会計への支出金	0	0	0	0	0	0	
5 その他	0	0	0	0	0	0		
計 (D)	3,875	1,273	5,148	2,929	1,656	563		

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 (D)-(C) (E)	2,212	1,234	3,446	2,538
補填財源				
1 損益勘定留保資金	1,169	1,051	2,220	1,396
2 利益剰余金処分量	762	183	945	945
3 繰越工事資金	0	0	0	0
4 その他	281	0	281	197
計 (F)	2,212	1,234	3,446	2,538
補填財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0

他会計借入金残高 (G)	0	0	0	0
企業債残高 (H)	2,101	0	2,101	1,714

○他会計繰入金

区 分		2021(令和3)年度				
		当初予算額	補正額等	最終予算額	決算額	増減 (決算-予算)
収益的収支分		14	0	14	11	△ 3
うち基準内繰入金		14	0	14	11	△ 3
うち基準外繰入金		0	0	0	0	0
資本的収支分		0	0	0	0	0
うち基準内繰入金		0	0	0	0	0
うち基準外繰入金		0	0	0	0	0
合 計		14	0	14	11	△ 3